

雑賀崎・田野エリアを中心とした地域のブランド化について

ワークショップ 及び事業の目的

和歌山市では、雑賀崎・田野エリアを中心に、地域固有の食や景観などの魅力、未利用・低利用の空間資源などを活用する民間投資を呼び込み、的確なマーケティングに基づいた集客力の高いコンテンツを創出・集積することで、**観光まちづくりを通じた地域再生**を目指しています。
そのために、地域の皆様と活用できる**資源や魅力の再確認**、**地域の将来像やそれぞれができること等を考える**ワークショップを全3回（予定）に渡って開催し、ワークショップで出される意見等を踏まえ、**市内外への訴求力が高いエリア造成に向けた基礎資料となるビジョン策定**を進めます。

対象エリア



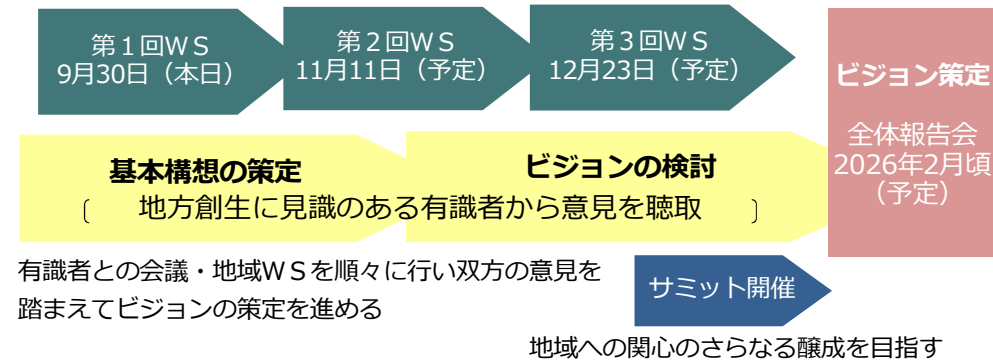
ビジョンの 位置づけ

- エリアビジョン ⇒ 地域のめざす姿や方向性（10年後の姿と想定するアクションを設定）
例）エリアの将来像、基本理念、資源活用の方向性 等のコンセプトを定める
エリアビジョンに基づき、今後 地域の観光まちづくり・地域再生により、ブランド化を進める

- 地域の皆様から見た 地域らしさ、地域の自慢できるところ（魅力の掘り起こし）
- 次世代のことを考えて、この地域がどうなっていて欲しいか（未来・理想について考える）
- 地域の魅力を継承していくために、それぞれができることを考える 等

全3回の ワークショップ で確認したいこと

事業の流れ



ワークショップ中の約束ごと

1

人の意見を受け止める・否定はしない！

2

「どうすべき」や「一般的に」よりも、あなた自身の経験や考えをぜひ、共有してください

3

全員が気持ちよく話せるよう、ご配慮を！

ふせん1枚に1つの意見を！

らしさ・魅力

未来像